

(様式1)

## 県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取湖陵高等学校

重点項目	I C T活用教育	提出日	令和4年12月16日
------	-----------	-----	------------

1 学校目標
「多面的な取組で専門人材を育てる鳥取湖陵高校の教育を推進する」 ①実験実習、資格取得などの実践的な教育を基礎に、習得した知識・技能を社会で活用する基礎的な力も養い、勤労観・職業観を育て、キャリアの充実を図る。 ②新たな学び方を通し、生徒の主体的で深い学びを促し、他者と協調する能力を養う。 ③人権尊重の心を育て、自他ともに尊重する共生の精神を形成する。 ④生徒一人ひとりの心情を理解し共感と相互信頼に基づいた指導を通して、規範意識を高め、市民としての素養を身につける取組を進める。
2 重点項目に係る目標
重点目標：学びを創造する力を高める教育の推進 ・実践的な専門教育を通じ、産業界で必要とされるより高度な知識、技能に挑戦する。 ・専門教科と共通教科の連携等の工夫を行い、学力や学習意欲の向上を目指す。 ・ICT活用教育を推進し、複雑で高度化する情報社会で生きる力をつける。 ・BYODの成果と課題を検証し、「一人一台端末」を有効に活用する。 ・協同学習の理念を基盤にしたアクティブな学びを実践し、主体的で深い学びに導く。
<数値目標> ○タブレット端末を使うことで授業に関心を持ち、主体的に取り組むようになった生徒の割合（学校全体 学校評価アンケートより H29 56.2%、H30 67.7%、R1 69.7%、R2 69.2%、R3 68.4%、R4 71.7%）を R5 目標 80%以上 ○ICTを活用した交流学习を通して、コミュニケーション能力が向上した生徒の割合（情報科学科、情報科学科アンケートより H30 86.7%、R1 68%、R2 87.6%、R3 76.0%）を、R5 目標 80%以上 ○タブレット端末を活用して授業を実施した教員の割合（教職員、県活用状況調査より H30 70.8%、R1 68.8%、R3 87.5%）を R5 目標 90%以上 ○教職員へタブレット端末または Chromebook を貸与した割合 R2 81%、R3 目標 100% を、R5 目標 100%維持

(様式1)

### 3 事業計画（事業名、事業概要）

#### 【高等学校課事業】

##### 「主体的・対話的で深い学び」（教員スキルアップ事業）

協同学習、ICT機器を取り入れた研究会を行い、大学等の研究者等から理論、実践面について指導を受ける。公開授業や授業研究会等は自校のみならず、他校の教職員にも案内の上、実施する。

#### 【独自事業】

##### ふるさと交流事業

小学校で行われるプログラミング授業に、情報科学科生徒が訪問してプログラミング交流を行う。また小学生が来校し、本校コンピュータールームでプログラミング教室を実施する。

##### ICT活用力向上事業

(1) アクティブ・ラーニングの推進（一部）【県事業】「主体的・対話的で深い学び」教員スキルアップ事業

- ① ICT活用・協同学習に関する研修会の開催
- ② ICT活用（iPad活用・BYOD・BYADを含む）研究のための視察・研修、成果の公開及び環境の整備

(2) 授業力向上

- ① ICT活用授業アドバイザー招聘

先進的な授業実践が豊富な講師の方に授業を参観してもらい、教科の特性を踏まえたICT活用について具体的な指導をいただく。他校にも参観の案内をする。本校での実施記録をHPで公開をするなどして還元を行う。1年間で2教科程度を実施し、5年間で全教科行うことを目標とする。

(3) 各種研修会への参加

授業改善や生徒指導のヒントや教育についての最新の知見を得るための情報収集・デジタル教材の導入などの取り組みも検討

※枚数任意